

# 八街市協働のまちづくり検討会分科会報告書

分科会名	第3分科会		
テーマ	防犯・防災・ボランティア		
開催日	平成 26年 7月17日	検討回数	第8回

## 検討結果概要

### 1. 今回検討した項目

・分科会の自主開催において出されたさまざまアイデアについて、検討し整理を行った。

### 2. 今回の討議した内容(報告)

分科会のテーマである防犯、防災、ボランティアについてアイデアの整理を行った。

- ・活動団体の横のつながりの強化、各見守り隊など連携の強化の必要性。
- ・日常的な声かけ、あいさつ運動。かまえないで、気軽に声かけをする。
- ・安心・安全は環境整備から。道路など草刈り、ごみ拾いなど市民参加の環境づくり。
- ・パトロール体制の強化。ながらパトロール、企業のパトロール参加。
- ・情報共有体制の構築。各部門で持っているさまざまな情報を共有する。
- ・防犯予防教室や防犯訓練の実施。自助、共助の意識を高める必要。
- ・地域防犯の環境を整える。空き地、空き屋対策、区加入の促進、子ども110番などにより防犯環境を整える。
- ・災害防災意識の普及・啓発活動。防災訓練などを通して知識や情報を習得し、意識の向上を図る。
- ・防災ネットワークの推進。日頃から情報を共有し、災害ボランティアの登録などによりネットワークを推進し、市民、地域、企業、行政のすべての人が協働することが必要。
- ・ボランティア活動の推進。NPO、法人団体、ボランティアの実態について十分に把握されていない。情報の共有を図り、横のつながりを深める必要がある。
- ・ボランティアの育成。高校生ボランティア、中学校でのJRC(赤十字)活動など、若年層からのボランティア活動への参加と体験がボランティア活動の育成につながる。
- ・災害ボランティアセンターの活用。9月に立ち上げ予定のセンターを有効に活用し、ボランティア活動の周知を図る。
- ・自主防災組織の結成。住民参加型の防災組織を結成することにより、災害時に迅速、的確な対応活動が可能となる。

### 3. 次回の検討方針

・今回の検討をもとに、さらにアイデアの整理を行い、分科会としての意見をまとめる。  
次回、自主開催の予定。